

有限会社 エス・アイ・プラン による 中小 M&A ガイドライン遵守宣言

有限会社 エス・アイ・プランは中小 M&Aガイドラインに則り、中小M&A支援機関として、下記事項を遵守を宣言いたします。

遵守事項	
仲介契約・FA契約の締結	
1	業務形態の実態に合致した仲介契約・FA契約を締結いたします。
2	契約締結前に依頼者に対し仲介契約・FA契約に係る重要な事項について明確な説明を行い、依頼者の納得を得られるように努めます。尚、説明すべき重要な点は以下のおとりです。
(1)	譲り渡し側・譲受側の両当事者と契約締結し双方に助言する仲介者、一方当事者のみと契約を締結し一方のみに助言するFAの違いとそれぞれの特徴。
(2)	提供する業務の範囲・内容(マッチングまで行う、バリエーション、交渉、スキーム立案など)
(3)	手数料に関する事項(算定基準、金額、支払時期など)
(4)	秘密保持に関する事項(秘密保持の対象となる事実、土業専門家等に対する秘密保持義務の一部解除など)
(5)	専任条項(セカンドオピニオンの可否など)
(6)	テール条項(テール期間、対象となるM&Aなど)
(7)	契約期間
(8)	依頼者が、仲介契約・FA契約を中途解約できることを明記する場合には、当該中途解約に関する事項
最終契約の締結	
3	最終契約の締結にあたっては、契約内容に漏れがないよう依頼者に対して再度の確認を促します。
クロージング	
4	クロージングに向けた具体的な段取りを整えた上、当日には譲り受け側から譲渡対価が確実に入金されたことを確認いたします。
専任条項	
5	依頼者が他の支援機関の意見を求めたい部分を仲介者・FAに対して明確にした上、これを妨げるべき合理的な理由が無い場合には、依頼者に対し、他の支援機関に対してセカンド・オピニオンを求めることを許容いたします。ただし、相手方当事者に関する情報の開示を禁止したり、相談先を法令上又は契約上の秘密保持義務がある者や事業承継・引継支援センターなどの公的機関に限定したりする時、情報管理に配慮します。
6	専任条項を設ける場合には、仲介契約・FA契約の契約期間を最長でも6ヶ月～1年以上内を目安として定めます。
7	依頼者が任意の時点で仲介契約・FA契約を中途解約できることを明記する条項など(口頭での明言も含む)も設けます。

遵守事項

テール条項	
8	テール期間は最長でも2年～3年以内を目安といたします。
9	テール条項の対象は、あくまで当該M&A専門業者が関与・接触し、譲り渡し側に対して紹介した譲り受けのみに限定いたします。
仲介業務を行う場合における特則	
10	仲介契約締結前に、譲り渡し側・譲り受け側の両当事者と仲介契約を締結する仲介者であるということ(特に、仲介契約において、両当事者から手数料を受領することが定められている場合には、その旨)を、両当事者にお伝えいたします。
11	仲介契約締結にあたり、予め、両当事者間において利益相反のおそれがあると想定される事項(※)について、各当事者に対し、明示的に説明を行います。また、別途、両当事者間における利益相反のおそれがある事項(一方当事者にとってのみ有利又は不利な情報を含む)を認識した場合には、この点に関する情報を、各当事者に対し、適時に明示いたします。 ※例:譲り渡し側・譲り受け側の双方と契約を締結することから、双方のコミュニケーションや円滑な手続き遂行を期待しやすくなる反面、必ずしも譲渡額の最大化だけを重視しないこと。
12	確定的なバリュエーションを実施せず、依頼者に対し、必要に応じて土業など専門家などの意見を求めるように伝えます。
13	参考資料として自ら簡易に算定(簡易評価)した、概算額・暫定額としてバリュエーションの結果を両当事者に示す場合には、以下の点を両当事者に明示いたします
(1)	あくまで確定的なバリュエーションを実施したのではなく、参考資料として簡易に算定したものであるということ。
(2)	当該簡易評価の際に一方当事者の意向・意見などを考慮した場合、当該意向・意見などの内容
(3)	必要に応じて土業専門家の意見をもとめることができること。
14	DDを自ら実施せず、DD報告書の内容に係る結論を決定しないこととし、依頼者に対し、必要に応じて土業専門家などの意見を求めるようお伝えいたします。
上記以外の中小M&Aガイドライン記載事項について	
15	上記の他、中小M&Aガイドライン中「M&A専門業者」に関する記載事項について中小M&Aガイドラインの趣旨に則った対応をいたします。

以上、宣言いたします。